



経過報告

0922023 福田有季子

骨組みの設計決定

- 加工しやすい
- 適度にしなる（植物らしさを失いたくない）
- 人間が寄りかかっても壊れない



ラワンベニヤ（土台）
（一部ラワンランバーコア）

竹（側面）

割竹 (2.5~3 センチ幅)

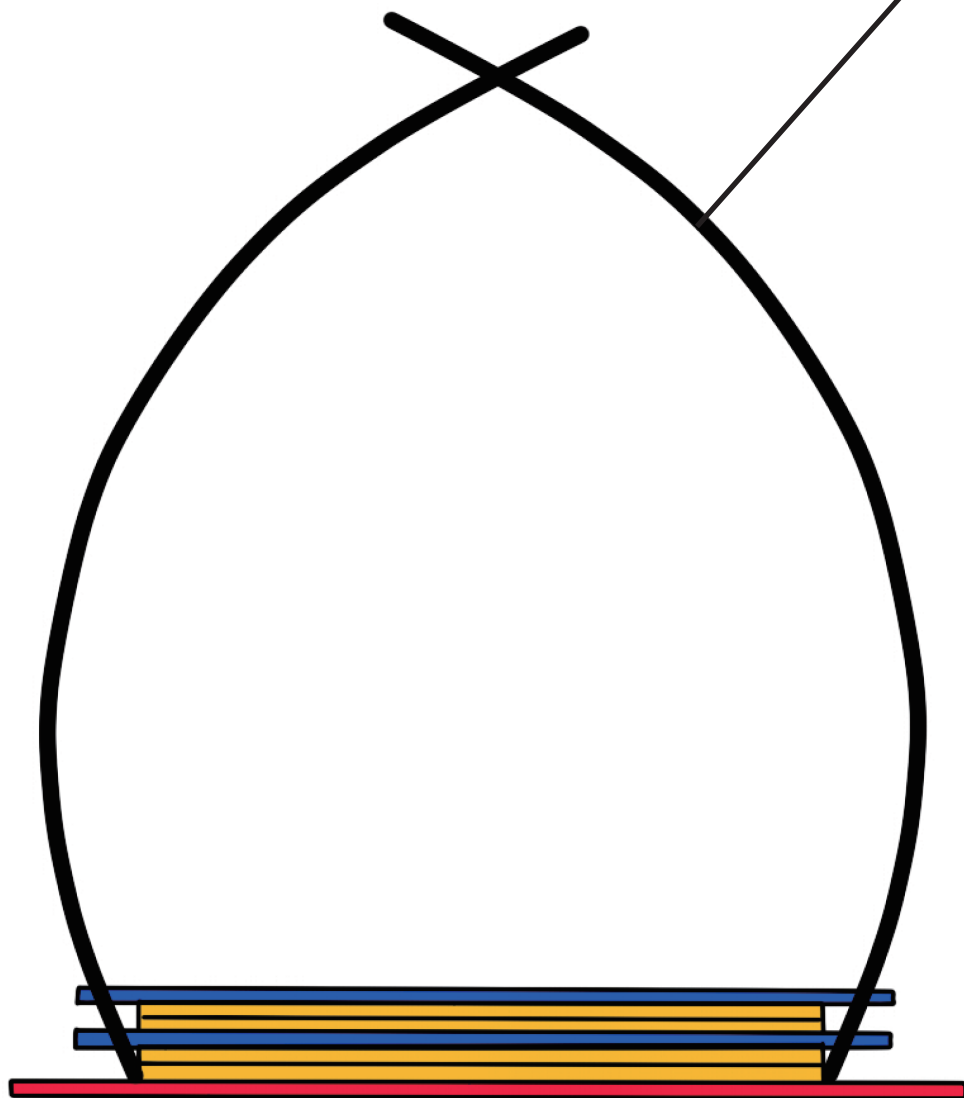
2M 20 本用意 入り口以外に立てる

板材：厚さ 12mm

赤：正四角板 1200mm (一辺)

黄：四角板 900mm (一辺)

青：円板 1100mm (直径)



- 板同士の接合は長い釘と木工用ボンドを使う。
- 割竹は濡らしてバーナーで炙って曲げる。
- 上記の物を板に穴をあけて差し込んで、上で束ねる

2 段階ホールド

光の演出について

「リラックス」「LED 浮いてる」というコメントから、
「リラックス効果のある光の演出」
について考えました。

「光はなしにして、真っ暗の方が引きこもりにふさわしい」というコメントもありましたが、
真っ暗というのはストレスになるそうです。

炎のゆらゆらした光には安心感があるので、
それを取り入れようと思っています。

問題は今の仕組みのまま、光の種類を変えるのか、
疑似ろうそくの装置を設置するのかです。

ようは下からの光か上からの光かです。

今の仕組みは感触的なリラックスの選択の幅を
狭めてる気もしてきました。